

小林市議会「市民との意見交換会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	内山地区	担当班	議員名	担当
参加人数	23 人		大浦 竹光	司会進行
開催日	平成 28 年 7 月 20 日（水）		◎蔵本 茂弘	活動報告（総務文教）
開催時間	午後 7 時～午後 8 時 30 分		海老原 幹朗	（経済産業）
会場	内山地域福祉センター		高野 良文	（市民厚生）
その他			穴見 嘉宏	（広報広聴）
			穴見 嘉宏	記録・報告書作成

◎班代表者

意見交換会の内容		※□市民の意見	■議員の意見
統一テーマ	「より豊かな市民生活の向上を目指して」 ～住民自治に根ざしたきずな協働体について～ ～人口維持対策（雇用対策）について～ ～子育て・少子化対策について～		
【意見交換の概要】 特に意見なし			

自由意見の交換	※□市民の意見 ■議員の意見
□医者も高齢化してきている。市立病院は何歳が定年か分らないが、日野原先生みたいにできるだけ続けてもらいたい。 ■市立病院の内科は医者が 1 人しかいない。すでに定年を迎えられたが、今回定年を 5 年間延長し 70 歳とすることを「何とか頑張ってみましょう」ということで本人の了承もいただいたところである。 □高齢者が病院に行って安いかと薬をたくさんもらってくる。特に湿布薬など山のように持って帰ってくる。病院もそういうところはよく考えて調整するように伝えていただきたい。 ■一般質問や委員会審査を通して、地域の意見を伝えていく。 □市営住宅 5 棟が何年も空き家である。もったいないと思うが何か活用する方法はないのか。地域で管理し観光客などの宿泊所として使えないか。 ■国の補助を受けて建設されたものであるから一定期間が過ぎないと自由にできないということもあるが、地域のための有効活用については議会でも議論している最中であるので、今後、当局に是正を要求していく。 □旧内山小・中学校の体育館を地域で使用しているが非常に傷んでいる。避難所にもなっ	

ている。補修して使うのか、取り壊すのか方針を早く示してほしい。

■耐震性の問題もある。一度、総務文教委員会で調査して、どうしたらいいのか議論する方向でいきたい。

□採草地の作業道が150メートルぐらいあるが側溝ができないか。

■地域整備課に伝える。

□大雨で県道が交通止めになっている。早く対応してほしい。また、県道沿いに田んぼを作っているが法面に大きな石があって草刈りもできない状態だ。石の撤去をしてほしい。

■その件は区長から地域整備課に要望が出ているようだ。

□医療費については、生活保護の方の医療費は無料ということで、必要のない医療が提供されてないか行政が調査をするよう議会から申し入れてほしい。

■生活保護の医療費の件は、担当課がチェックはしている。一般質問や委員会審査を通して、地域の意見を伝えていく。

□旧内山小・中学校の管理は予算が少ないから十分にはできないと言われた。管理のための最低限の予算は確保してほしい。

■学校施設管理の件は、体育館含め担当委員会で調査・研究してみる。

□年に4回、学校や周辺の草刈りをシルバーでやっている。地区でやっていたときは9万円の予算であったがシルバーは5万円でやってほしいということであった。全部やらなくていいということだが、地域の人からはやり残しがあると言われるから残すわけにはいかない。地域でやっていた時と同じ9万円ではいけないのか。

□年金協会で小学校のグラウンドを使用している。そのためグラウンド内に草はない。その周りは草が生えるため、栗の苗を買ってきて植えた。栗がなつてみんなが取りに来れば草も抑えられるのではと思ってのことだ。このようにして管理しているということをわかってほしい。

□小林市は消火栓の標識は立てないということで、黄色いペンキが塗ってあるが分りづらい。以前戸惑ったことがある。よその人が来た時もわかるように標識を立ててほしい。

■一般質問や委員会審査を通して、地域の意見を伝えていく。

議会活動報告への意見

※□市民の意見 ■議員の意見

□自主財源の確保はどうなっているのか。支所に要望に行くと予算がない、財源が厳しいと聞く。野尻、須木、合併前と合併後はどうなのか。合併しなかったところも議会で調べて合併してよくなったのか検証するべきだ。

■財政と合併の効果については、平成15年に西諸の2市2町1村の合併問題が出たときに合併した時としなかった時の財政シュミレーションが出ている。須木村が単独でいった

場合、平成２８年には人口は１，４８０人、投資的経費はマイナスつまり確保できないとなっているが、いま、人口は１，７００人台、診療所、歯科診療所、ガソリンスタンド、他に福祉関係の事業も維持できていることから、一定の合併の効果はあったものと思われる。野尻は、人口が８，０００人台の予想であったが残念ながら８，０００人を切っているため、効果はまだ表れていないとっていいのではないか。合併特例債や地方交付税の合併算定替えによって自治体の規模に比べて、多めの交付税が来たこともあり小林市の財政は合併前よりよくなってきたといえる。ただ、庁舎建設、中心市街地の開発など一時的には借金が増える。そのようなことから決して財政状態はいいとは言えない。